

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

グループ理念

究極の安全を第一に行動し、技術と情報でネットワークの力を高め、すべての人の心豊かな生活を実現する。

連結営業収益
3兆2,760億円

連結営業利益
4,100億円

連結ROA
4.0%程度

ネット有利子負債/E
3.5倍程度

2 中長期の経営戦略

1. 安全のトッププライオリティ

究極の安全を追求し、不断に安全レベルを向上させる。東北新幹線の連結部外れ等の事象に対し、恒久対策を実施するとともに、グループ全体のガバナンス向上につなげる。

3. 経営体質の抜本的強化

生産年齢人口減少への対応として、鉄道メンテナンス分野での他社連携や車両部品共通化を推進。地方ローカル線について沿線自治体と持続可能な交通体系構築を協議。

2. 収益力向上と成長戦略

Suica Renaissance推進で移動と決済のデバイスから生活のデバイスへ進化。TAKANAWA GATEWAY CITYで広域品川圏駅中心に1,000億円収益規模をめざす。

4. 組織改革と人事制度

2本部・10支社から36事業本部への事業運営体制に改正。国鉄時代由来の人事・賃金制度を抜本的に見直し、社員の成長と果敢なチャレンジを支援。

3 対処すべき課題

① 安全体制の強化

- ・東北新幹線連結部外れや輪軸事象への恒久対策実施
- ・グループ全体のコンプライアンス意識向上と品質管理体制構築
- ・現場第一線と企画部門、内部監査による統制確認体制整備

② 経営環境への対応

- ・生産年齢人口減少と少子高齢化への対応
- ・多様化する顧客ニーズとライフスタイルの変化への対応
- ・生成AIや自動運転など急速なテクノロジー進化への対応

③ 地域・ローカル線の持続化

- ・津軽線と久留里線における自動車系交通への転換協議推進
- ・シンプルで柔軟な運賃制度実現に向けた国への要望継続

面接で使えるポイント

- ・究極の安全を経営のトッププライオリティに掲げ、東北新幹線事象への恒久対策やグループ全体のガバナンス向上に取り組む姿勢。
- ・Suica Renaissance等を通じて、リアル×デジタルの顧客接点で生活のデバイスへ進化させ…
- ・2050年CO2実質ゼロ、水素ハイブリッド電車HYBARI2030年営業運転をめざすESG経営で…

証券コード 9020

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.08兆円営業利益率
13.4%財務健康度
36点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 60.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
819万円

陸運業内 11位/57社

平均年齢
39.8歳

陸運業内 49位/57社

平均勤続
17.1年

陸運業内 22位/57社

女性管理職
9.0%

陸運業内 12位/46社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
東日本旅客鉄道株式会社の事業概要

…

主力事業・セグメント

- ・運輸 68.8%
- ・不動産・ホテル 17.3%
- ・商社・サービス 14.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高3.08兆円の大企業
- ・営業利益率13.4%の安定した収益性
- ・平均勤続17.1年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

